



News

博報堂 広報室
HAKUHODO
Corporate Public Relations Division
tel:03-6441-6161 fax:03-6441-6166
www.hakuhodo.co.jp

2011.12.01

博報堂生活総合研究所 生活動力2012

これからの新しい人とのつながりは、
テーマや目的のもと、幅広い人達が自発的に集まる

「**巻**づくり」へ

- 圈を持つ人は2人に1人。
- 圈は13.4人の幅広い人達の集まり・つながり。
- 圈を持つ人の幸福度は76.8%。

東日本大震災後、絆、利他、がんばろうなど、人とのつながりが注目を集めました。こうした生活者の集まり・つながりについて、博報堂生活総合研究所で調査したところ、これまでの縁、ネットワーク、コミュニティとは異なる、新しい集まり・つながりが生まれていることがわかりました。当研究所が毎年、年末から年始にかけ、生活の未来予測を発表する「生活動力」では、「テーマがある」「オープンである」「流動的である」という新しい集まり・つながりを「圈」と呼び、それを創り出す人々の行動を「圈づくり」と名付けました。今後、既存の枠組みを超えた、人々による主体的な新たな生活圏の再編が進むと思われます。本リリースでは、どれくらいの生活者が「圈」を持つのか、「圈」はこれまでの集まり・つながりとどう違うのかについて、ご報告いたします。

(以下、博報堂生活総合研究所「圈の構造調査」より)

1 圈を持つ人は 2人に1人

調査上、圏の定義を「自ら創ったり関わったり、もしくは自発的にそこにいる人と何らかの体験をともにする、テーマや目的を持った集まりや人とのつながり」として、その有無を質問したところ、圏を持つ人は、47.6%でした。圏を持つ人のうち、今後、圏を「増やしたい」人は全体の20.5%。また、圏を持たない人のうち、今後、圏を「持ちたい」人は28.9%。これらを足し上げた、圏を「増やしたい／持ちたい」人は49.4%。ほぼ2人に1人が圏の拡張意向を示しています。

2 圈は13.4人の 幅広い人達の 集まり・つながり

ひとつの圏の構成人員は平均13.4人。そこには、性別、年代、地域、職業などを超え、幅広い人達が集まっています。また、圏のテーマは、地域再生や社会貢献などの「かたい」ものから、趣味や娯楽に関する「やわらかい」ものまで多種多様。また、圏の44.1%で「自分の持つ能力やスキル、仕事での専門性などが活用」されています。多種多様な圏の持つテーマがそこにいる人々の力を引き出しています。

3 圈を持つ人の 幸福度は76.8%

圏を持つ人は、「自分のことを幸せだと思う」割合が76.8%と高く、圏を持たない人(61.3%)を15.5ポイントも上回ります。また、圏を持つ人は、圏のテーマや目的のために無理のない等身大のアクションを行い、その結果、大きなチカラを得ています。こうしたチカラが、人々を幸福へと導いているようです。

本件に関する
お問合せ先

株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所
株式会社博報堂 広報室

吉川・夏山
山野・藤井

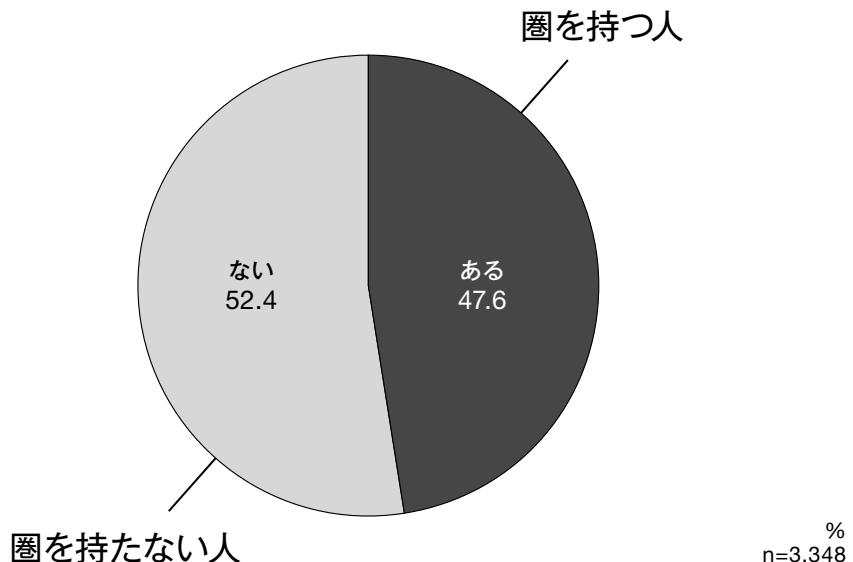
TEL:03-6441-6450
TEL:03-6441-6161

1 圈を持つ人は、2人に1人

テーマや目的のもと、幅広い人達が自発的に集まる「圈」を持つ人は、2人に1人います。

東日本大震災後、2011年5月に実施した「臨時生活定点」調査では、生活者が個として自律しながら、他者と連帯しようとしていることがわかりました。こうした新しい集まり・つながりを読み解くために、さらに2011年10月に実施した「圈の構造調査」で圈の定義を「自ら創ったり関わったり、もしくは自発的にそこにいる人と何らかの体験をともにする、テーマや目的を持った集まりや人とのつながり」として、その有無を質問したところ、圈を持つ人は、47.6%でした。

Q あなたには、「自ら創ったり関わったり、もしくは自発的にそこにいる人と何らかの体験をともにする、テーマや目的を持った集まりや人とのつながり」がありますか。



今後、圈を「増やしたい／持ちたい」人も2人に1人です。

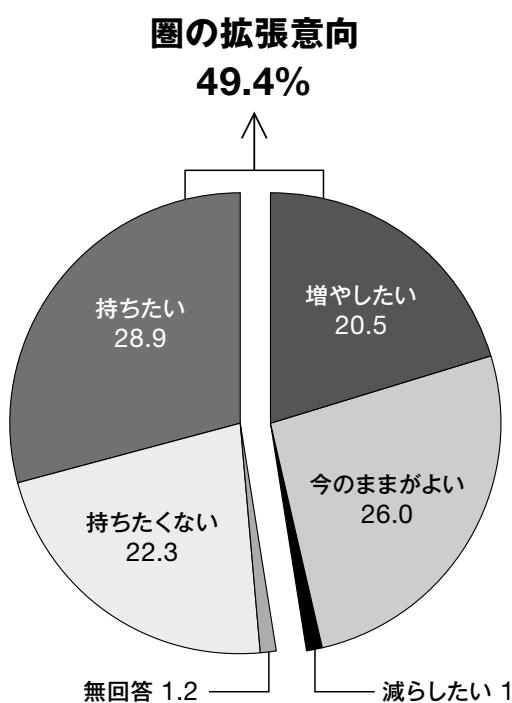
今後の圈への意向を、圈を持つ人には“増減”意向、圈を持たない人には“所有”意向として質問したところ、圈を持つ人のうち、今後、圈を「増やしたい」人は全体の20.5%。また、圈を持たない人のうち、今後、圈を「持ちたい」人は28.9%となっています。これらを足し上げた、圈を「増やしたい／持ちたい」人は49.4%。ほぼ2人に1人が圈の拡張意向を示しています。

Q 圈を持たない人には
“所有”意向を質問

Q 圈を持つ人には
“増減”意向を質問

Q あなたは、「自ら創ったり関わったり、もしくは自発的にそこにいる人と何らかの体験をともにする、テーマや目的を持った集まりや人とのつながり」を今後持ちたいと思いますか。

Q あなたは、既にお持ちの「自ら創ったり関わったり、もしくは自発的にそこにいる人と何らかの体験をともにする、テーマや目的を持った集まりや人とのつながり」を今後増やしたいですか。



※圈の所有者と非所有者で異なる質問をしているが、ここでの数値は、全体ベースで集計したもの。

② 圈は 13.4 人の幅広い人達の集まり・つながり

テーマへの興味・関心で、 平均 13.4 人の幅広い 人達が集まっています。

圈を持つ人に「あなたの圈は、どれくらいの人数から構成されていますか」と質問したところ、ひとつの圈の構成人員は、平均13.4人。そこには、性別、年代、地域、職業を超え、幅広い人達が集まっています。

圈のテーマは「かたい」 ものから「やわらかい」 ものまで、多種多様です。

圈のテーマは、趣味や娯楽などの「やわらかい」もの、地域再生や社会貢献などの「かたい」ものまで多種多様。若年だから「やわらかい」、中高年だから「かたい」といった偏りもなく、老若男女が自由に圈へ参加しています。

多種多様なテーマは、圈に 集まる人々の能力を引き出 しています。

多種多様なテーマを持つ圈の44.1%で、「自分のもつ能力やスキル、仕事での専門性などが活用」されています。高度な専門性や難解な知識だけではなく、特技や個性、過去の経験など幅広い才能や資質が活用されています。



圈を構成している人たちの性別、年齢、居住地などの特徴を教えてください。

- 下は10代から、上は40代ぐらい、居住地は日本全国、韓国の方もいる。性別もバラバラ。
(ネットゲームのコミュニティ・23歳男性・熊本県)
- 40～60歳、宮城・埼玉・東京・山口・長野など全国的。
(好きなアーティストを応援するファン友・48歳女性・長野県)
- 東京から九州に住む男女。
(パンクバーで将来暮らしたい人の集まり・31歳男性・福岡県)



圈のテーマや目的、行われていることは何ですか。

かたいテーマ

青少年意識調査の集まり

現代社会で問題とされていること、流行していることに対して意見を述べる。

(25歳女性・東京都)

自然エネルギー促進のNPOボランティア

太陽光発電を含む自然エネルギーの普及促進のため、イベントの開催や会員勧誘活動を行う。

(48歳男性・愛知県)

宇宙メダカの飼育の報告連絡の集まり

地球を236周もしてきたメダカを純潔のまま維持して、育てていこうという集い。

(63歳男性・京都府)

やわらかいテーマ

カロリー会

高校生の女子がカロリーの高いものをひたすらたくさん食べる会。

(18歳女性・愛知県)

マジック講座

マジックの楽しさに触れるとともに、マジック技術の向上を目指す。

(38歳男性・兵庫県)

ハーレーの走行（タンデム）の会

みんなで一緒に走り、親睦会をする。その様子をWEBに掲載している。

(64歳女性・神奈川県)



圈では、どんな能力やスキル、専門性などを活用されていますか。

- 手先の器用な私が手芸作品の細かなところを担当している。
(小物を手作りする集まり・43歳女性・神奈川県)
- 言いだしちゃで盛り上げ役な私の性格を活用している。
(高校時代の友人と悩みや進路を語る会・21歳女性・大阪府)
- 豊富な旅行経験を活かして、コストパフォーマンスの良さが最大限になるように遊びを企画している。
(ベトナムの関連会社の人達と遊ぶ集まり・63歳男性・千葉県)

③ 圈を持つ人の幸福度は 76.8%

圈を持つ人の幸福度は高く、圈を持たない人を 15.5 ポイントも上回ります。

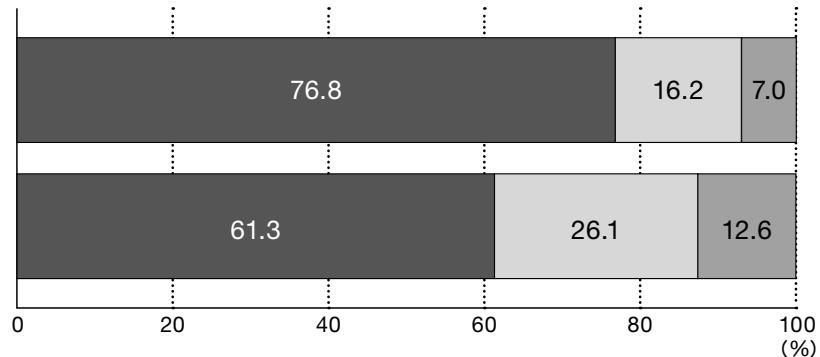
圈を持つ人は、「自分のことを幸せだと思う」割合が76.8%と高く、圈を持たない人(61.3%)との差は15.5ポイントにもなります。

Q あなたは、自分のことをどの程度幸せだと思っていますか。

■ 幸せな方だ ■ どちらともいえない ■ 不幸な方だ

圈を持つ人
n=1,595

圈を持たない人
n=1,753



「圈づくり」の結果、大きなチカラを得ることで、圈を持つ人々は幸福を感じているようです。

圈を持つ人にとって、大切な「集まりや人とのつながり」はどんなチカラが湧いてくるのかを質問したところ、圈のテーマや目的のために、無理のない等身大のアクションを行うことで、大きなチカラを得ていることがわかりました。こうしたチカラが人々を幸福へと導いているようです。

Q 以下の文章の空欄を埋めて、文章を完成させてください。

私にとって大切な「集まりや人とのつながり^(※)」は、[] チカラが湧いてくる。

(※) 別途質問で回答してもらった大切な「集まりや人とのつながり」をインターネット画面上に表示して質問。

→ 圈のテーマ

地方活性化のため

→ 圈への等身大アクション

自治会で様々な活動

→ 圈から得る大きなチカラ

[世界的紛争が絶えない情勢でも日々安心できる大きな]チカラが湧いてくる
(63歳男性・島根県)

女としての
幸せについて
話し合うため

友人宅での泊まり会

[女として必要な]チカラが湧いてくる
(24歳女性・大阪府)

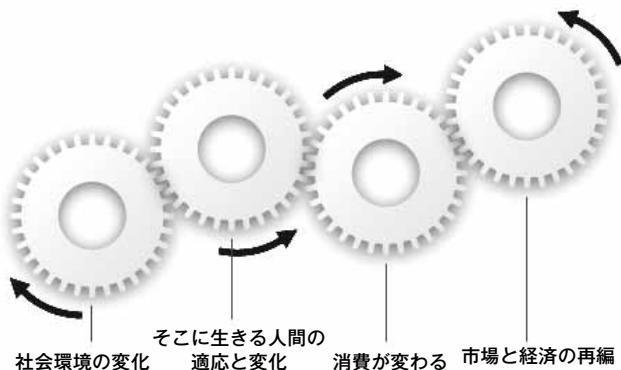
子供の理工学への
興味向上のため

宇宙関連の
仕事を活かす集まり

[自己を復習させる]チカラが湧いてくる
(39歳男性・茨城県)

「生活活動力」とは

人口動態や経済の浮沈、技術革新など、様々な時代のインパクトを受け、生活者は常に変化を繰り返していきます。人は社会的インパクトへの適応性と弾力性を持った生き物です。変化する環境の中で、自らの意志と欲求により暮らしを改編していきます。そのことが新たな消費市場を生み出します。生活総研では、こうしたダイナミックスを「生活活動力」と呼び、毎年、年初にその発表と提言活動を行っています。



書籍「生活活動力 2012」発行のご紹介

「圈づくり」私が生きる場 私を活かす場

発行日：2011年12月15日

サイズ：213×155×82mm (3点ボックス入り)

内容：●「本編」A6カード・127枚・リング留め

総論編

- ・「圈づくり」の背景
- ・「圈」の特徴
- ・「圈づくり」の未来
- ・「2012年を読み解く生活者地図」A2
- ・「圈の構造」調査データについてのお知らせ A6

キーカード 100

- ・社会変化を象徴する30の数字
- ・「圈づくり」に向かう人々の20の気持ち
- ・「圈づくり」が生み出す50の風景

価格：8,400円(税込)

発行所：株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所

書籍案内およびご購入について <http://seikatsusoken.jp/publication/>



参考：「圈づくり」が生み出す風景

※書籍「生活活動力 2012」内、「圈づくり」が生み出す50の風景より

別との訣別

男女別、年齢別、未既婚別。人々の生活を規定してきた「別」が消えつつある。消えつつあるのだから、力んで乗り越える必要はない。かつての「男の料理」と、今時の「弁当男子」の違いのように、これまでの「別」にこだわらず、自分がいいと思うことをするのだ。

恋愛圏が変わる

異性とのルームシェア、ボランティアを通して知り合った東北人と東京人のカップル、同じ相手と離婚・結婚を何度も繰り返すカップル、離婚した後も元妻不在で義両親と同居生活を続ける男性。これは、すべて実際に起きていること。新しい男女のカタチが出現している。

「代」を超える関係

世代を超えてカップルになる、「年の差婚」。時代を超えて戦国武将のオッカケに熱中する若き「歴女」。年代を超えて料理情報を交換するレシピ・コミュニティ・サイト。暮らしの現場では、世代、時代、年代を超えたつながりが増殖中だ。人々の興味関心は、縦横無尽に関係を編集していく。

雑居ベンチャー

仕事は全く異なれど、席を隣にするシェアオフィスが話題だ。企業とフリーランスの中間にいる異質な個人がつながる場をつくり、そこから新ビジネスを創発しているケースもある。住居で、教室で…職場以外でも異質同士の雑居が進めば、新アイデアは次々と生まれる。

隊衆化

震災は、目的に応じて瞬間瞬間でフォーメーションを組む《隊衆》を生みだした。ガソリン節約のためメールで調整し駅からの「自前乗合タクシー」を出動させるご近所同士や、健康増進と防災学習を兼ねて避難所を巡る団体など。目標達成のためにプロジェクト・ベースで連なる人々が増えている。

孤育てからシェア子育て

母ひとりの「孤育て」ではなく複数家族がつながる「シェア子育て」が拡大中。ツイッターで「いま子どもがギャン泣き中」「うちも！」と交わるツイママ。昼食はみんなで持ち寄り食費を浮かし休日も一緒に遊ぶ新・大家族も生まれている。新家族の誕生で新市場もできそうだ。

「圏の構造調査」調査概要

■ 調査地域 全国 47 都道府県

■ 調査手法 インターネット調査

■ 調査対象 15 歳から 69 歳までの男女 3,348 人

※ 全国を 8 地区に分割し、エリア別人口構成に応じて割付。

※ 性年代は 10 歳刻みで均等割付。ただし、10 代は 15 歳～19 歳のため、その約半分。

男性 1,674 人 (10 代男性 154 人、20 代～60 代男性 各 304 人)

女性 1,674 人 (10 代女性 154 人、20 代～60 代女性 各 304 人)

地区	内訳	
北海道	北海道	154
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県	232
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県	1,144
中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県	606
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県	550
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県	198
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県	100
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	364
合計		3,348

■ 調査時期 2011 年 10 月 14 日 (金)～17 日 (月)

■ 企画・分析 博報堂生活総合研究所

■ 実施・集計 株式会社 マクロミル

参考：「圏の構造調査」レポートの概要

人々が自発的に創っているこれからの新しい集まり・つながりに関する分析レポートです。本レポートでは、どのくらいの生活者が圏を持ち、それがどのような特徴なのか、また圏を持つ人のプロフィールなどについて、調査からの数量的な分析と人々の生の声をご紹介します。

圏の特性	1. 圏は、幅広い人達が集まる平均 13.4 人の場 2. 圏は、テーマが多種多様 3. 圏は、4 割以上の人で能力を発揮させる 4. 圏は、3 割のネットサービス活用度 5. 圏は、活発な消費を生み出す
圏を持つ人のプロフィール	1. 圏を持つ人は、フットワークかるがる 2. 圏を持つ人は、えらび上手 3. 圏を持つ人は、多チャンネル名人 4. 圏を持つ人は、人を惹きつけ、話題を拡げる 5. 圏を持つ人は、ひとりも一緒に自信あり 6. 圏を持つ人は、圏が生み出すチカラで幸せ

※詳細は「圏の構造調査」レポートをご覧ください。

※レポートは、こちらの URL からでもダウンロードできます。 http://seikatsusoken.jp/publication/detail.php?a_id=3258